

様

年 月 日

CBDCA・TS-1療法

この治療では次の2種の治療薬を使用します。

CBDCA (カルボプチン) : 細胞のDNAや蛋白合成を妨げ効果を現します。

TS-1 (ティーエスワン) : 細胞のDNAやRNAの合成を妨げ効果を現す。

<投与スケジュール> . . . 5週間が1コース 今回 コース目

| <薬品名> <投与方法・時間> | <薬の作用> | 1コース目 | | | 2コース目 |
|---|--------|---|----------------|--|---|
| | | 1日目 | 21日目 | | 日目 |
| グラネセロン、デキサト、輸液 <点滴静注30分> | 吐き気予防 |  | 休業 | |  |
| カルボプチン注 輸液500ml <点滴静注 90分> | 化学療法剤 |  | 休業 | |  |
| ティーエスワン  内服<日間> 休業<日間> | 化学療法剤 |  | 休業 | |  |



<薬剤投与日の注意>

- ★ 点滴部位が痛くなったり、腫れたりした場合や点滴が落ちなくなった場合は、薬液が血管外へ漏れていることがありますので、すぐに申し出てください。
- ★ 薬剤の投与は、血液検査やその他必要な検査を行いながら進めていきます。副作用の発現・合併症の有無によって治療の途中で、薬剤の減量・変更や中止されることがあります。

<備考>

<副作用>

| 副作用と症状 | 発現時期、頻度 | 対策 | メモ |
|---|---------|--|----|
| 白血球減少 発熱 風邪様症状 | 10～14日後 | うがいや手洗い・休養を心がけて下さい。白血球を増やす薬や抗生物質を使うこともあります。 | |
| 血小板減少 出血 | — | けがや打ち身、歯ぐきからの出血、鼻血などに気をつけて下さい。止血剤を使ったり、輸血をすることもあります。 | |
| 貧血 倦怠感 息切れ | — | 採血結果によっては、造血剤を使ったり、輸血をすることがあります。 | |
| 吐き気・嘔吐 | — | 我慢せずに吐き気止めを使用してください。 | |
| 下痢・腹痛 | 約3割 | 水分摂取を心がけて下さい。下痢止めや整腸剤を使用してください。重度の場合は点滴をすることもあります。 | |
| 口内炎 | 4人に1人 | うがい薬や塗り薬を使います。 | |
| 腎障害 | — | 水分摂取に心がけ、尿量を多くしてください。 | |
| 間質性肺炎、肺障害 | 非常にまれ | 空咳、息切れ、呼吸困難、発熱など。早期発見が大事。 | |
| 過敏症（アレルギー） 顔がほてる 息苦しい、胸が苦しい 発疹、かゆみなど | 非常にまれ | 予防薬を使いますが、症状があればすぐに申し出て下さい。 | |
| 白質脳症 | 非常にまれ | 口のもつれ、ふらつき、物忘れなど。早期発見が大事。 | |
| その他：発熱、倦怠感、心障害、視力障害、脱毛、手足症候群など | | | |

- ★ 放射線療法と併用することがあります。その場合はより口内炎やのどの粘膜障害がより強く現れます。うがい薬などを早めに使用し予防に努めてください。
- ★ ここにあげた副作用は、代表的なものです。必ずしもこれらの症状が現れるとは限りません。副作用が現れても、早期に発見、対処すれば、治療の継続が可能です。過剰に心配せず、気になること、調子の悪いことがあれば、医師・薬剤師・看護師に申し出て下さい。